

# あふれる情報うのみ禁物

② ネットトラブルから身を守ろう！

## 目指せ！お金の達人



富山県金融広報委員会  
金融広報アドバイザー

漆間 明子

インターネットの普及で便利な世の中になった一方で、さまざまなトラブルが起きています。安全にネットを利用し、トラブルから身を守るにはどうしたらよいか、考えてみましょう。

**Q** インターネット利用の現状は？

**A** インターネットが利用できる機器（情報端末）としては、パソコン、タブレット端末、スマートフォン、携帯電話、ゲーム機などがあります。

図を見ると、12歳以下から80歳以上の幅広い年齢層がインターネットを利用していることが分かります。コロナ禍で人との接触を避けることが求められる中、離れた家族や友人たちと顔を見ながら話すこともできる会員制交流サイト（SNS）の利用も多くなっています。このように、誰もがインターネットを利用できる一方、誰もがトラブルに遭う可能性があるのです。

**Q** ネットトラブルにはどんなものがある？

**A** 一口にネットトラブルと言っても、多岐に渡ります。よくある事例を紹介しましょう。

①身に覚えのない利用料金の請求メール  
②アダルトサイトのワンクリック詐欺  
③実在する携帯電話会社

社や宅配業者をかたる偽のショートメッセージサービス（SMS）  
④偽通販サイト利用による商品未着・偽物の送り付け  
⑤偽警告画面表示によるパソコンセキュリティソフトの契約  
⑥クレジットカードや電子マネーの不正利用  
⑦子どもオンラインゲームへの課金  
⑧フリーマーケットでの個人間トラ

**A** これまでに挙げたトラブルで、全く身に覚えがない場合は無視して関わらないことです。しかし中には、消費者がもう少し注意すれば防ぐことができたものもあります。

**Q** 何に気を付ければいいのか？

例えば、有名ブランド商品が破格の安さで売られている場合は、

ブル⑨無料期間終了後の解約忘れ  
⑩健康食品や化粧品等の「定期購入」  
⑪ネットやSNSでのデマや誹謗中傷の書き込みなどです。思い当たる事例はありましたか？

## インターネットで利用した機能・サービスと目的・用途(過去1年間)

	電子メールの送受信	ホームページやブログの閲覧、書き込み	SNSの利用	動画投稿共有サイトの利用	オンラインゲームの利用	情報検索	商品サービスの購入・取引
全体	73.9	54.9	70.2	51.6	30.5	72.7	56.5
6~12歳	19.0	26.2	35.2	72.0	53.4	25.3	5.1
13~19歳	55.4	50.9	81.7	70.1	56.0	60.4	35.6
20~29歳	79.5	61.2	86.2	70.2	52.3	77.4	76.9
30~39歳	82.3	67.0	83.2	64.8	38.9	82.7	76.1
40~49歳	83.8	64.1	79.0	57.0	31.0	82.1	71.6
50~59歳	84.4	61.1	73.8	47.6	18.5	81.1	63.6
60~64歳	80.6	52.8	63.4	31.8	11.0	80.4	52.4
65~69歳	75.4	45.6	52.8	23.4	6.8	73.7	41.8
70~74歳	70.7	39.8	45.1	17.5	6.7	67.2	34.3
75~79歳	65.1	30.8	39.9	10.8	4.7	55.6	26.3
80歳以上	51.8	24.3	36.2	10.7	5.4	39.1	15.8

※出典：総務省「令和2年通信利用動向調査」から抜粋。複数回答。単位は%

偽物の可能性があるため購入を控えます。また「初回限定お試し価格」などの表示がある場合は、複数回の購入が必要な定期購入の可能性があるので、購入前に一呼吸置き、利用規約などを十分チェックしましょう。

このように、自らネット上の広告を見て商品やサービスを契約する購入形態は「ネット通販」と呼ばれます。元々通信販売にはクーリングオフの適用がなく、解約や返品の場合は業者が定める「返品特約」に従うこととなります。

また、最近のネット広告には「アフィリエイト広告」と呼ばれるものがあります。その広告を見て消費者が商品を購入すると、紹介記事を書いた者に収入が入る仕組みです。そのため、中には信ぴょう性が疑われる、夢のような誇大表現をしている場合もありますので、うのみにしてはいけません。

心配なことがある、トラブルに遭ったという場合には、お近くの消費生活センター、(局番なしの188)へ相談して下さい。

**Q** ネットとSNSの正しい付き合い方を教えてください。

**A** 現代社会は情報にあふれています。それらの真偽を見極めることは難しいことです。だからこそ、真偽が疑われる曖昧な情報をうのみにせず確認することが大切です。

自分が得た知識を適切に理解、解釈、有効活用できる能力を「リテラシー」と言います。自分や大切な人の身を守るために「情報リテラシー」を養っていきましょう。(消費生活専門相談員)